

【ASP用記事】600字

日経 225 の業者の選び方

日経 225 のみならず、どんな投資でも手数料を考えて取引することが大切です。手数料が膨れ上がってしまうと、それだけ利益を圧迫することになりますので、投資効率の面でも決してお得とは言えません。出来るだけ手数料の安い業者を選びたいのですが、手数料の安さだけで日経 225 の業者選びをするのは賢い選択とは言えません。そこで取引に慣れている投資家の皆さんの例を参考に、手数料と日経 225 の関係についてみてみましょう。

たとえば、あなたが見つけた A 社、どの業者と比較しても手数料の安さではダントツだったとします。さっそく A 社に口座開設をしたいところですが、残念ながら A 社の情報ツールはあまり充実していません。一方、B 社は手数料は少し高いものの、情報ツールはかなりしっかりしていたとしましょう。

さて、皆さんならどちらの業者を選びますか？A 社でしょうか？それとも B 社にしますか？

取引に慣れている投資家の人なら、両方の業者に口座開設をします。一見、手数料が 2 倍必要になるように思えますが、実はそうではないのです。日経 225 の手数料とは 1 枚あたりの「取引手数料」のことで、「口座開設費」や「口座管理費」はほとんどの業者が無料で設定しているのです。そこで、A 社と B 社の両方に口座を開設して、B 社の情報ツールで情報をしっかりと収集し、その情報をもとに A 社で取引をする。こうすることで、安い A 社の手数料で取引できるだけでなく、豊富な情報ツールも使い放題なんですね。取引手数料を考えることはとても大切なことなのですが、手数料が安いことだけに魅力を感じて 1 社だけに口座開設をするのではなく、複数の業者に口座を開設することで、安い手数料でも充実した取引が可能になるのです。

読者のニーズに沿った記事を作成しつつ、アフィリエイトプログラムへ誘導しています。